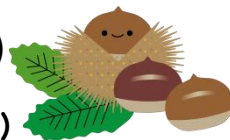


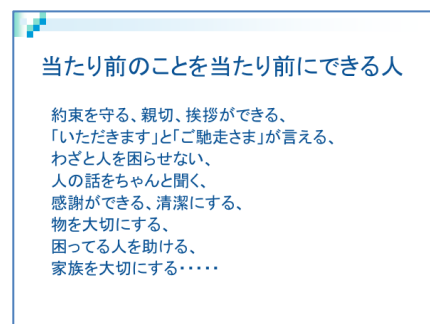
2年生 国際理解講演会(国際理解コース対象)



令和2年11月19日(木)

2年生国際理解コース生徒対象に、繊維商社に勤め国際舞台でご活躍の栗田久里子さんの講演会が開催されました。栗田さんは、一宮市に本店をもつ豊島(株)品質管理室 業務管理課に勤務。昨年の今頃は中国やベトナムにと飛びまわっておられましたが、現在は新型コロナウイルスの影響で海外や国内のやり取りはZOOMでの会議になっている、とのこと。今回の講演では、海外の人たちとの交渉のご経験を踏まえ、魅力ある日本人になるためにはどうあるべきか、さらに自己実現するためにはどうすべきか伝えてくださいました。前半の講演の流れは以下の通りです。

- 1 5秒で自己紹介ができるように ⇒常にその準備をして、印象に残る自己紹介をする
- 2 見た目を磨く ⇒背筋を伸ばした姿勢、キリッ・ニコツとした顔、清潔で、TPOに合わせた服装を心がける
- 3 コミュニケーション力を磨く ⇒話の引き出しをたくさんもつ。知らない、興味がないという言葉は避け、話に反応できる土台づくりをする
- 4 魅力的な人になる ⇒魅力的な言葉で話ができる(多くの本を読む)、印象のいい言葉を使う(母語の力は大切)、日本の魅力を理解する



後半には、生徒たちの成功体験や失敗体験の内容、そしてそのときの心情についてチャートに記入させ、それぞれの体験で得たものを糧にモチベーションをもち続けることの重要性を説かれました。

栗田さんは、中国語の通訳資格だけでなく、繊維・ファッション業界で仕事をしていることもあり、その人に似合う色の診断ができる「ベースカラー診断士」の資格もお持ちです。生徒たちは自分のイメージカラーが何なのかなど、興味をもって聴いていました。

最後に生徒たちは、ウォルトディズニーが言ったとされる “It can be imagined, it can be created.” に合わせて、なりたい自分を想像し、そしてそれが実現(創造)できるよう、一人一人が皆の前で「決意表明」をすることで講演が終わりました。

この日の受講メモはいったん回収し、栗田さんにお届けします。その一枚一枚に栗田さんが目を通したあと、今度は栗田さんから、それぞれにメッセージを添えて生徒に返却となります。

